

社会医療法人こぶし 巡回バス変更について

千歳こぶしクリニックの閉院と、その後植苗病院に診療機能が集約されることに伴いまして、昨年12月1日より巡回バスにいくつか変更点がありましたので、お知らせいたします。

時刻表1 植苗病院（月～金）

バス停	①	②	③	④
1.植苗病院	9:30	11:00	13:30	15:00
2.沼ノ端駅北口（道南）	9:43	11:13	13:43	15:13
3.職訓センター通南（休）	9:50	11:20	13:50	15:20
4.柳町診療所	9:55	11:25	13:55	15:25
5.柳町診療所	10:00	11:30	14:05	15:30
6.職訓センター通北（青山）	10:03	11:33	14:08	15:33
7.沼ノ端駅北口（道南）	10:10	11:40	14:15	15:40
8.植苗病院	10:25	11:55	14:30	15:55

時刻表2 千歳こぶしクリニック（月～金）

バス停	①	②	③	④
1.植苗病院	9:30	12:20	14:00	15:30
2.千歳こぶしクリニック	9:50	12:40	14:20	15:50
3.植苗病院	10:10	13:00	14:40	16:10

※千歳こぶしクリニック巡回バスは土曜・日曜・祝日は運休です

<千歳こぶし巡回バスについて>

千歳こぶしクリニックと植苗病院を結ぶバスは2021年12月1日から1日4便に増便となりました（時刻表2参照）。また千歳こぶしクリニック閉院後は、2022年3月1日から千歳こぶしクリニック発着ではなく千歳駅西口のロータリー発着（図参照）となりますのでご注意ください。

詳しくは窓口にて配布しております巡回バス時刻表かホームページ（<http://www.uenae-hp.or.jp/bus2.pdf>）にてご確認ください。巡回バスをご利用されている皆様にはお手数をお掛けいたしますが、よろしくお願いいたします。

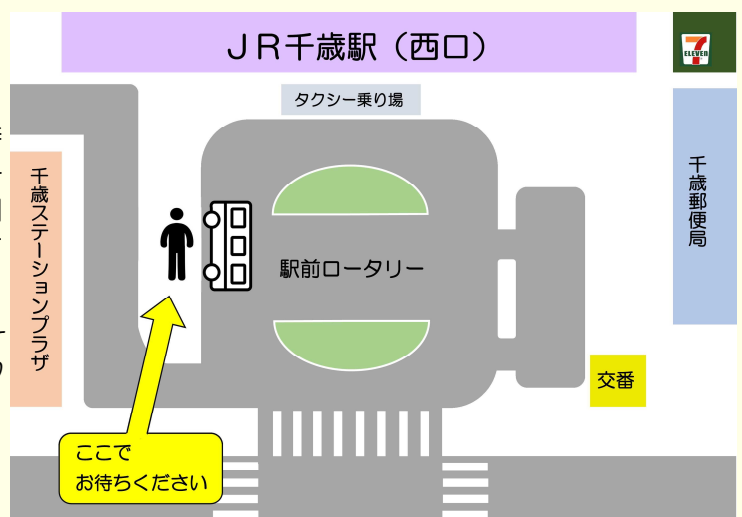
※Googleなどの検索サイトにて“植苗病院”で検索していただくと社会医療法人こぶしのホームページにたどり着くことができます

<植苗病院巡回バスについて>

今まで植苗病院と苫小牧市内を結ぶ巡回バスは、苫小牧バスターミナルとの往復で一日3便でしたが、去年12月1日から平日は植苗病院と柳町診療所を往復する路線に変わり一日4往復となりました（時刻表1参照）。この路線変更に伴いましてバス停も変更となり、「拓勇南」停留所には止まりませんのでご注意ください。またこの変更は平日のみであり、土日祝日の巡回バスに変更はありません。

<柳町診療所巡回バスについて>

植苗病院巡回バス変更に伴いまして柳町診療所と苫小牧市内各所を結ぶ巡回バスにも、一ヶ所停留所の変更があります。今までは国道274号（支笏湖通）沿いの「支笏湖通」停留所で乗降できていましたが、昨年12月1からは「苫小牧駅北口」停留所での乗降に変わりますのでご注意ください。それ以外運行時間等についての変更はありません。



図：千歳駅西口のロータリー



日翔病院 地域連医療連携室

医療ソーシャルワーカー 堀江 美紗さん

広報委員：堀江さんの略歴や現在のお仕事について教えてください。

堀江さん：道内の社会福祉系大学卒業後より、この職場に勤めており10年になります。主な業務内容としては、外来・入院にまつわる相談業務全般と地域連携業務です。職場が急性期の医療機関のため、患者さんの人生の転換期に立ち会うことがあり、院内外の専門職等と連携し退院支援や療養先の相談を行っています。

広報委員：前回の「とまこまい医療介護連携センター」本間さんから「日翔病院の医療ソーシャルワーカーとして大事にしていることやソーシャルワーカーであることを実感する時があったら教えてください」と質問がありますが、これについてはいかがでしょうか？

堀江さん：忘れないようにしている言葉が2つあります。ひとつ目は、大学の実習で「利用者の見えているところだけが課題じゃないよ」と言われたこと。ふたつ目は、就職当時、支援で困ったときに上司からよく「社会福祉士の倫理綱領になんて書いてあった？」と聞かれたことです。器用な人間ではないので今でも学んでいる最中ですが、患者さんと向き合うとき、大切にしたいと思っています。そうして退院できないだろうと言われていた方が自宅に帰ることになった支援ケースもあります。実感するのはそういうときです。

広報委員：堀江さんにとって関係機関との「連携」というのはどのように考えられていますか？

堀江さん：患者さんの抱える課題に対して、困っているのは誰でもどのようなことを支援者側で共有しそれぞれの役割を決めることです。時には医療と福祉だったり、医療機関同士だったり、医療と地域だったり、場面は違いますが、患者さんの見方はすべて一緒ではないと理解し、限りある資源の中で動く必要があると思っています。それが個々の機関で難しければ関係機関が一同に会して全員で課題を「共有」してから役割を整理していくケア会議を開くことも大切だと考えています。そのことが、結果として患者さんに役立つのではないかと信じています。

広報委員：今後どのような「連携」ができればいいとお考えですか？

堀江さん：理想はクライアント（医療機関としては患者さん本人）が自己決定できるように支援者が協力することですが、地域の資源や、支援者側にも様々な考え方や方針があるので、その違いを共有し、歩み寄ることができればいいなと考えています。それは、お互いがこれまでよりも少しクライアントのために新しいやり方に踏み出すことだと思いますが、そのためにも支援者の「話し合える関係性」が大切ではないかと感じています。

広報委員：最後に「アルコール看護研究会」への質問をお願いします。

堀江さん：アルコール依存患者さんに対し、医療側や患者家族が適切な機関につなげたいと思っても、ご本人の気持ちが一致していないことがよくあります。時間もかかります。ご本人の事情もあります。しかし体を蝕んでいること、家族等が困っていることも真実です。こういったアルコール依存患者さんの課題と向き合う際、大切にしている視点を教えてください。

広報委員：お忙しい中、ありがとうございました。今後どうぞよろしくお願いいたします。



このコロナ禍で会う事が難しかった姪が久しぶりに遊びに来た。1年半ぶりに会うと想像よりも大きくなっているし、色々な事が出来る様になっていて、子供って凄いなと驚いてしま

う。毎日子供の成長を見ているお父さんやお母さん達には笑われてしまうが、年老いた母と二人暮らしの私にとっては「こんな事まで出来るなんて天才！！」ぐらいの驚きである。

私の日常なんて、思い出せそうで思い出せないで終わる記憶や簡単に出来ていたことが難しくなるなど、能力の喪失で溢れている。さらに「年を取ったのだからしかたないよねー」なんて言って過ごしているの、毎日が淡々としている。なので、子供と一緒にいるだけで世界が色鮮やかになってしまう。

次会う時までには恐竜を沢山覚えていて欲しいと言われたが、母はそうそうに敗北を宣言していた。私は少し若いので、簡単にできるアンチエイジングとして挑戦してみようと思う。ところで恐竜ってどれくらいの種類を覚えると許してもらえるのだろうか？名前、似たようなカタカナで難しいのだけれど大丈夫だろうか…。



私が最初に新型コロナワクチンを接種したのは、2021年の5月である。医師問診では、「熱はね、出るものだと思いますw」と言われた。あっさり告知されたことはちょっとショックだったが、その通りだと思った。私はインフルエンザワクチン接種でインフルエンザ症状が出る体質である。しかし幸運なことに「副反応」は打った肩の腫脹ですんだ。2回目は6月。翌日の夜に高熱が出てきた。震え→解熱薬→発汗→寝室の窓を開けて涼む、というサイクルを一晩で数回繰り返した。3日目には回復したと思ったが、出勤すると「顔色が悪い」と言われた。その後、市でも大規模接種が始まり、私も20回ほどワクチン業務に従事した。問診業務において、自らの体験がおおいに役立ったことはいうまでもない。2022年1月、3回目の接種が始まった。医師会からも再びワクチン業務の依頼があった。まずは自分が接種したいと思い、再度の発熱を食らった。そして私はいろいろやった後、まもなくここを去ることとなる。とはいえ特段落胆するようなことでもあるまい。次に出会えるその日まで、長い長い昼寝でもして待つことにしよう。

(T.N)

お 知 ら せ

◆ 外来変更のお知らせ ◆

2022年4月1日(金)より社会医療法人こぶし外来担当医が下記のように変更になります。外来をご利用されている皆さまには大変ご不便をお掛けいたしますがよろしくお願いいたします。ご不明な点がございましたら植苗病院受付にご確認ください。

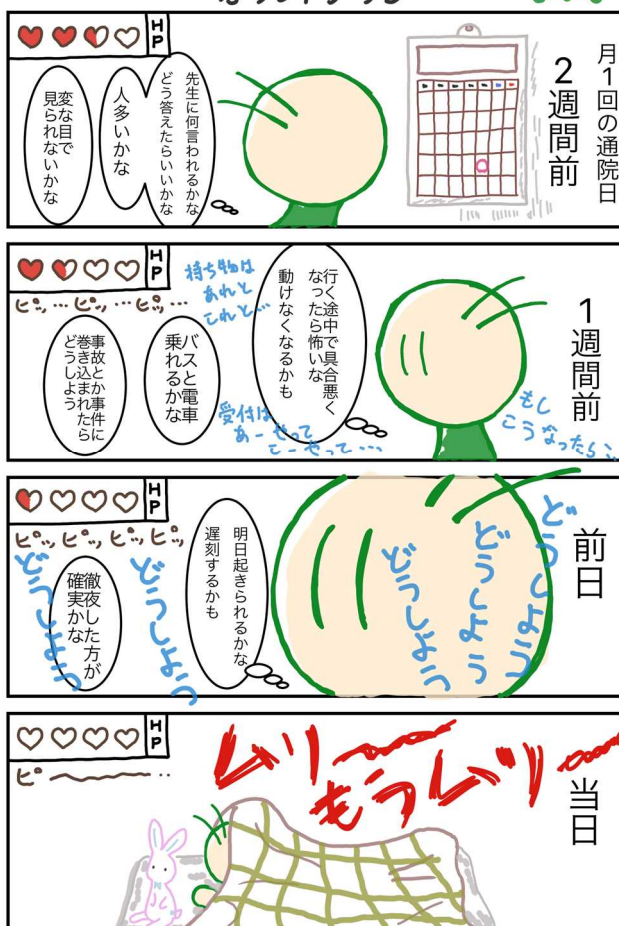
		月	火	水	木	金
植苗病院 精神科	午 前	高木※ 川 並	阿 部	高 木	高 塚	河 野
	午 後	-	阿 部	高 木	高 塚	-
柳町診療所	午 前	片 岡	望月※ 小 熊	片 岡	片 岡	片 岡 小 熊
	午 後	片 岡	望月※ 小 熊	片 岡	片 岡	片 岡 小 熊

※は予約制となっておりますので、詳しくは各外来にお問い合わせください



カウントダウン

まりも



病む人と出会い
病む人を支え
病む人に学ぶ

発 行
社会医療法人こぶし広報委員会
苫小牧市字植苗52-2
TEL:0144-58-2314
<http://www.uenae-hp.or.jp/>



スキー場の斜面は最高！

〈 後 記 〉

雪遊びが楽しくて仕方がない5歳の姪を、ふわふわの雪の上にポンと投げてあげたら、怒られました。子供の気持ちは難しいものですね。ちなみにソリもスピードを上げ過ぎて怒られました。

(K.S)